

学校教育推進室だより

東大阪市教育委員会 学校教育部 学校教育推進室 平成31年1月11日
〒577-8521 東大阪市荒本北一丁目1番1号 TEL06-4309-3268~9

- 東大阪市学校教育基本目標
すべての子どもに生きる喜びとあすをつくる力を
- 東大阪市学校教育重点目標
 - 総合的視点に立つ教育の推進
 - 人間尊重に徹した人権教育の実践
 - 信頼に応える学校園経営
 - 学校園・家庭・地域の協働

モノづくり体験教室

モノづくり体験教室は、『次世代を担う子どもたちにモノづくりの啓発を推進すること』を目的として、地元企業で組織されているNPO法人東大阪地域活性化支援機構と本市経済部が中心となり、市内各小学校で実施しています。東大阪市内の企業の方々を講師に招き、「モノづくりのまち東大阪」の次世代を担う子どもたちに「モノづくり」の楽しさを伝えるものです。

今年度もたくさんの小学校から応募があり、35小学校で様々な講座が実施されています。



活動の様子



バネのおもちゃ(英田北小)

講師の方から、日常生活において様々なところでバネが使用されていることを学びました。

その後、紙を丸く切りぬき、つなげ合わせてバネのおもちゃを作りました。

体験を通じて、「モノづくり」のおもしろさや大切さを学習することができました。

ワイヤーアート(玉川小)

講師の方をお迎えし、ワイヤーアートに挑戦しました。

本市地場産業の一つである綿材を応用したカラーワイヤーを使用し、自由な発想による作品づくりを行いました。

ペンチやニッパーを使い、楽しみながら「モノづくり」を学ぶことができました。



今年度の実施講座 〈全15講座〉

- 工具体験
- 紙袋製作
- ワイヤーアート
- アートネジ
- グッズ工作
- ねじの仕組み
- 万華鏡づくり
- めっき・ダーツ体験
- バネのおもちゃ
- ミノルキューブ
- 工具と木工工作
- 磁石体験
- ひな人形工作
- 作図体験
- ダンボール貯金箱

東大阪市では、子どもたちがモノづくり体験教室や職場体験学習などの様々な体験や活動を通して、地元の「ええとこ」を感じ、「ええひと」とふれあうことで、地元への愛着を深め「自尊感情」や「地尊感情(地元を尊ぶ感情)」を高められるよう、特色あるキャリア教育の推進を図っています。

中河内地区三市（東大阪市・八尾市・柏原市）による授業改革実践交流会

平成 30 年 12 月 11 日（火）、中河内地区三市合同の授業改革実践交流会＜指導方法の工夫改善（少人数指導）部会＞が八尾市役所で開催されました。本交流会は、習熟度別指導をはじめ、各校で取り組んでいる実践を交流することにより、授業改革の一層の推進と充実を図るとともに、新しい指導方法のあり方について研究討議する場として、毎年行っているものです。

はじめに、各市の学校から実践報告が行われ、本市からは大蓮小学校より、『主体的・対話的で深い学びを実現するための授業のあり方』についての報告がありました。大蓮小学校では、子どもたちが主体的・対話的に取り組むために、①ICT機器の活用、②6年間の系統立てたペア学習、③課題設定を工夫した授業、に取り組んでいます。特に、③については、生活体験など身近なことから課題を設定することで、子どもたちが自分ごととして考え、お互いの考えの違いやよさに気づき認め合い、学びが深まったという成果を報告していただきました。

次に、参加者が持ち寄った自校の実践をもとに、新学習指導要領のキーワードの1つである「主体的・対話的で深い学び」について考え、「深い学びにつながるポイント」を中心に授業実践の工夫や効果についてグループで交流をしました。

最後に、まとめとして大阪府教育センター 田中毅指導主事に「新学習指導要領がめざすもの」をテーマにご講演頂きました。

参加者にとって、自らの授業を振り返り、次の実践へとつながる実りある交流会となりました。



↑他市・他校はどんな取組みをしているのかな？

獣医師出前授業～生きているということ～



本年度も獣医師による出前授業を開催しています。この事業は、平成 16 年度より大阪府獣医師会所属の学校飼育動物担当委員と学校教育推進室が連携し、希望する学校園に対して実施しています。

出前授業では、はじめに「動物（主にウサギ）と仲良くなるにはどうすれば良いか。」ということについて、パワーポイントを使ってわかりやすく説明してもらいます。（ウサギが主ですが、飼育している動物に合わせて、アヒルやハムスターの事についても詳しく教えてもらいます。）

その後、抱いたり、なでたりなど動物に触れるとともに、聴診器を使ってウサギの心音を聞いたり、自分や友だちの心臓の音と聞き比べたりします。動物の温かさを感じ、聴診器から伝わってくる心臓の鼓動を聞くことは、命を直に感じる貴重な体験となります。お話の中で「動物の立場に立って、どんな気持ちなのか考えよう！」という事を繰り返し子どもたちに伝えていただきます。



うさぎの心音を聞く児童

うさぎの心音を聞いた子どもたちは、「わぁ、聞こえた。すごい!!心臓の音ってこんな音なんや!!」「めっちゃ早い。うさぎの心臓の音!!」と、とても驚いた様子でした。獣医師の先生から「これが生きているってということなんだよ。」と言われると、多くの子どもたちが、「そうかぁ・・・」「人間と同じや!!」など、感嘆の声をもらっていました。

この出前授業を通して、動物も『生きている』ということを実感すると同時に、あらためて命の大切さを考える機会になればと願っています。

【本年度実施校(予定含む)】長瀬北小、英田北小、弥刀東小、八戸の里東小、石切小、意岐部小、枚岡幼